



JASDAQ

2013年9月20日

各 位

会 社 名 マックスバリュ九州株式会社
代表者名 代表取締役社長 柴田 英二
(コード番号: 3171 JASDAQ)
問合せ先 取締役経営管理本部長 赤木 正彦
(電話番号 092-433-1228)

当社の親会社名 イオン株式会社
代表者名 取締役兼代表執行役社長 岡田 元也
(コード番号: 8267 東証第1部)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2013年4月9日に公表した第2四半期累計期間の業績予想を下記のとおりに修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

2014年2月期第2四半期(累計)業績予想の修正(2013年3月1日~2013年8月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
					円 銭
前回発表予想(A)	69,300	1,355	1,355	670	89.01
今回修正予想(B)	68,775	862	868	342	45.54
増減額(B-A)	△524	△492	△486	△327	
増減率(%)	△0.8	△36.3	△35.9	△48.8	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2013年2月期第2四半期)	64,692	1,256	1,253	681	90.80

2. 修正の理由

当第2四半期累計期間における当社を取り巻く環境は、円安の進行による原材料価格の上昇及び2014年より予定されている消費増税等による消費者の購買意欲の低下など、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような中、当社は当第2四半期累計期間中に新店3店舗の開店及び既存店10店舗の改装を実施し、積極的な売上拡大策を行いました。第2四半期累計期間の売上高既存比は99.3%と伸び悩みました。また、お客さまの低価格志向と、異業種の食品市場への参入拡大等に伴う厳しい価格競争により、売上総利益率は計画より0.3ポイントの低下となりました。

このような状況を踏まえ、当第2四半期累計期間の業績予想につきまして、売上高は68,775百万円、営業利益は862百万円、経常利益は868百万円、四半期純利益は閉店損失の引当計上等により342百万円に修正いたします。

なお、通期の業績予想につきましては客数増加への取り組みや既存店舗の改装効果等を勘案し、2013年4月9日に公表しました業績予想を修正いたしません。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって業績予想数値と異なる結果となる場合があります。

以 上